

駒場松桜会会報

第61号
1997年9月1日発行
発行所 駒場松桜会
〒153 東京都目黒区
大塚1-18-1
都立駒場高校仰光寮
電話03-3466-7579
振替番号
00190-8-28486

母校創立百周年に対する

会員の皆様からのご意見

前号会報(9/3発行)で母校創立百周年(2002年)についての会員の皆様のご意見・協力をお願いいたしました。多くの方から同封のハガキにて「回答をいただき、ありがとうございます。」とご返信をいただきました。

皆様からお寄せいただきました内容をとりまとめ、ご報告いたします。

まず、百周年記念事業、行事については、①記念誌②同窓会名簿③音楽会④同窓生の作品展示会⑤茶会⑥バザー⑦同窓会館建設・仰光寮修復⑧花木の植樹などの提案がありました。

また、記念事業や行事を成功させるためには、組織作りが必要となりますが、その点に関しては、各卒年の同期会によるネットワークの構築、パソコンのホームページの開設、新聞広告による同窓生への呼びかけ等のご意見が寄せられました。

具体的な提案はないが、計画が決まったならば、なんらかの協力なりお手伝いをしたいとのこと回答もお寄せいただきました。

第三卒の大先輩の方々は、

母校創立百周年を迎えることに感無量であり、母校に対する良き思い出と誇りを持たれていることを述べ、母校の益々の発展を祈念する旨のお便りをお寄せいただきました。

記念事業・行事について、もう少し具体的にお願いしたい、もう少し具体的にお伝えしたいと、記念誌編集のため、「早くからデータを集められるのがよい。胸20-30には、コピーライターなど何人かおられます。学校群出展の頃や学園紛争の頃のプリントを差し上げます。」「特別のプロジェクトを作り、広く卒業生から人材を集めてやっていただきたい。集まった資料の展示も必要です。」「百年の日本の激動の中で果たした第三、駒場の教育と生き抜いた卒業生の姿、今の駒場の教育現場の紹介。」「先輩後輩の皆様の活躍の様子を知らせていただきたい。」「百年の母校の歴史を写真で。親子二代、三代の紹介。」「府立第三の姿を残していただきたい。」「全会員から「歴史に残したい記憶」を千字以内で募集。内容が最適なものを各卒年一名づつ選び、記念誌に載せる。残ったその他の原稿は別冊にしたいものです。」「昔の写真、昔の卒業生の話」

記念誌の発行は学校側が主体になる予定で、同窓会は資料の提供や財政的支援(一定冊数の引きとり)になると思われま。

勿論、編集内容検討時に当方の要望なり人的支援を行う予定にしております。

同窓会名簿については、「充実完全版を期待する。」「卒業生の活躍ぶりがわかるような内容の名簿。」「住所不明な方々を極力なくす」

確かに、駒場卒について見ると住所不明となっている比率が高いです。同窓会事務局としても不明率の低減に努めていますが、同期会・クラス会を開催されます時は最新住所録を事務局宛お送り下さい。出来るだけ多くの同窓生が皆様に会報もお送り出来るようになります。

音楽会では、「ベートーベン第九よろこびの歌の合唱。」「同窓生で現在活躍中の方々によるコンサート。」「お役に立てることとして、祝典合唱曲の献呈とピアノ演奏。」「企画なり、出演なりまた裏方なりのお手伝い。」「チェンバロの演奏家として、何かお役に立っていただければと思っております」

バザーについては、「百周年記念行事のためのバザーに参加したいと存じます。」「学園祭などで、バザーをされる際には、参加させていただきたいと存じます。」「出品は草木染・手織物の小物など。」「ジュエリーショップを経営しております。もし出来れば売店を聞いて、その売上を百周年の基金の一部にお役に立らせていただければと考えます」

同窓会館等については、「同窓会館のようなものが欲しい。卒業生の中の建築設計の人材を動員して。勿論、その前の資金集めで苦労があります。」「仰光寮の老朽化がひどいので、修復事業は如何が」

植樹では、「記念事業として、校内に草花の植樹は如何でしょうか」

す」

か、「校50本、松50本の植樹。そして今後毎年一本づつ交互に植樹寄贈が出来ます。スペースがあれはよいと思うのですが」

同期会の組織化では、「駒17の同期生の名簿がかなり整備され、各クラスの人達がなにかと動ける体制になっていると思います。お手伝いが出来ると思います。お申し付け下さい。」「駒23は25周年同期会を開催いたしました。百周年に向けて、ネットワーク作りを進めたいと思います」

以上ご回答いただきましたご意見やご協力の一端を報告いたしました。皆様からのご意見を参考にさせていただきます。百周年記念事業や行事計画を立案いたします。実施にあたりましては、ご協力をお願いいたします。

植樹では、「記念事業として、校内に草花の植樹は如何でしょうか」

学園祭参加のお知らせ

日時 9月20日(土)、21日(日)10時~15時
場所 本館2階 201教室
展示 新聞博物館の夢を実現させた男のロマン
——日本新聞界の貴重な資料「羽島コレクション」——

羽島知之氏(駒6-3)の50年間の収集と戦後創刊された駒場高校新聞(前身ひまわり)から興味深い記事で本校の歩みを紹介する

◎休憩所 湯茶接待

[進 路]

大学合格状況				
国・公立	大・学	H7.3	大・学	9.3
北海道	1	1	2	
東北	1	1	2	
関東	1	1	2	
北関東	1	1	2	
中部	1	1	2	
近畿	1	1	2	
中国	1	1	2	
四国	1	1	2	
九州	1	1	2	
計	1	1	2	
私立	1	1	2	
北海道	1	1	2	
東北	1	1	2	
関東	1	1	2	
北関東	1	1	2	
中部	1	1	2	
近畿	1	1	2	
中国	1	1	2	
四国	1	1	2	
九州	1	1	2	
計	1	1	2	
計	1	1	2	
短大	1	1	2	
北海道	1	1	2	
東北	1	1	2	
関東	1	1	2	
北関東	1	1	2	
中部	1	1	2	
近畿	1	1	2	
中国	1	1	2	
四国	1	1	2	
九州	1	1	2	
計	1	1	2	
計	1	1	2	
短大	1	1	2	
北海道	1	1	2	
東北	1	1	2	
関東	1	1	2	
北関東	1	1	2	
中部	1	1	2	
近畿	1	1	2	
中国	1	1	2	
四国	1	1	2	
九州	1	1	2	
計	1	1	2	
計	1	1	2	
短大	1	1	2	
北海道	1	1	2	
東北	1	1	2	
関東	1	1	2	
北関東	1	1	2	
中部	1	1	2	
近畿	1	1	2	
中国	1	1	2	
四国	1	1	2	
九州	1	1	2	
計	1	1	2	
計	1	1	2	
短大	1	1	2	
北海道	1	1	2	
東北	1	1	2	
関東	1	1	2	
北関東	1	1	2	
中部	1	1	2	
近畿	1	1	2	
中国	1	1	2	
四国	1	1	2	
九州	1	1	2	
計	1	1	2	
計	1	1	2	
短大	1	1	2	
北海道	1	1	2	
東北	1	1	2	
関東	1	1	2	
北関東	1	1	2	
中部	1	1	2	
近畿	1	1	2	
中国	1	1	2	
四国	1	1	2	
九州	1	1	2	
計	1	1	2	
計	1	1	2	
短大	1	1	2	
北海道	1	1	2	
東北	1	1	2	
関東	1	1	2	
北関東	1	1	2	
中部	1	1	2	
近畿	1	1	2	
中国	1	1	2	
四国	1	1	2	
九州	1	1	2	
計	1	1	2	
計	1	1	2	
短大	1	1	2	
北海道	1	1	2	
東北	1	1	2	
関東	1	1	2	
北関東	1	1	2	
中部	1			

私立大学	H7.3	8.3	9.3	信州大学看護短期 長野県立看護大		
青森県立大学	25	15	17	青森学院女子短大	10	8
山形大学	11	2	1	聖亜細亚短大	2	1
山形学院大学	3	2	3	群馬学院短大	3	2
山形県立大学	3	2	3	群馬学院短大	4	5
山形県立大学	2	3	3	大妻女子短大	4	5
山形県立大学	12	7	10	学習院女子短大	4	4
山形県立大学	5	5	6	共立女子短大	4	2
山形県立大学	5	5	5	駒込義塾看護大		
山形県立大学	3	3	4	駒込義塾大	1	2
山形県立大学	5	4	12	駒込義塾大	4	1
山形県立大学	7	7	10	茨城女子短大	4	1
山形県立大学	6	2	1	十文字女子短大	4	1
山形県立大学	21	24	16	創価女子短大	1	2
山形県立大学	4	5	6	三洋学園女子短大	2	1
山形県立大学	5	6	6	東京家政短大	2	1
山形県立大学	1	2	1	東京家政短大	4	1
山形県立大学	3	2	2	東京家政短大	1	4
山形県立大学	3	1	2	東洋女子短大	2	1
山形県立大学	2	1	2	横浜学院女子短大	2	1
山形県立大学	24	25	29	日東学院女子短大	4	3
山形県立大学	11	8		日本体育大短大	1	5
山形県立大学	4	2	1	文化女子短大	1	1
山形県立大学	4	2	1	明治学院短大	1	2
山形県立大学	1	1	3	明治学院短大	2	1
山形県立大学	15	27	13	成蹊学院短大	1	1
山形県立大学	2	2	2	聖徳女子短大	2	1
山形県立大学	5	5	5	武蔵女子短大	2	1
山形県立大学	1	1	3	武蔵女子短大	3	1

保健体育科

[illegible]

收支報告

収入の部

	'96年度予算	'96年度決算	増・減
基本財産運用取入			
基本財産利息取入	500,000	231,063	268,937
会費取入	8,460,000	8,594,000	△ 134,000
入会申し込み金	1,960,000	1,950,000	10,000
会費	6,500,000	6,644,000	△ 144,000
積立財産利息取入	200,000	48,386	151,614
寄付金取入	300,000	357,280	△ 57,280
雑収	50,000	39,989	10,011
運用財産利息取入	30,000	23,539	6,461
雑取入	20,000	16,450	3,550
前受金取入		3,128,000	△ 3,128,000
当期収入合計	9,510,000	12,398,718	△ 2,888,718
前期繰越収支金額	700,000	3,711,816	3,011,816
収入合計	10,210,000	16,110,534	△ 5,900,534

支出の部

		'96年度予算	'96年度決算	増・減
事業費		6,400,000	4,987,139	1,412,861
講演会		100,000	85,880	14,120
助成金		200,000	200,000	0
会費		4,700,000	4,185,881	514,119
編集印刷費		1,600,000	1,493,391	106,609
発送通信費		3,100,000	2,692,490	407,510
名簿管理費		1,000,000	396,305	603,695 [※]
雑費		400,000	119,073	280,927
管理費		2,660,000	2,318,180	341,820
諸手当		900,000	840,000	60,000
会議費		300,000	193,557	106,443
備品費		200,000	198,139	1,861
消耗品費		180,000	183,649	△ 3,649
通信費		200,000	184,800	15,200
旅費交通費		500,000	476,230	23,770
公租金		80,000	58,465	21,535
雑費		300,000	183,340	116,660
積立金支出		850,000	667,460	182,540
基本財産積立金		500,000	500,557	△ 557
会館建設等積立金		100,000	109,953	△ 9,953
奨学積立金		50,000	49,959	41
名簿発行積立金		200,000	69,991	193,009
予備費計		300,000	0	300,000
当期支出合計		10,210,000	7,972,779	2,237,221
当期収支差額			8,137,755 ^{※※}	

※ 名簿発行年度であったが、平成10年2月郵便番号7桁に変更されるため、名簿発行を延期。名簿修理費等の経費が減少。

※ 未払金（名簿発行積立金20,000円）、前受金（平成9年度会費3,128,000円）及び100周年積立金（3,800,000円）を含む。

諸証換書類と帳簿照合の結果、収支とも正確に執行されていることを証明します。

1997年6月17日 宮崎玲子 印

平成8年度事業報告

1. 松坂会館主催 5月9日(月)1時45分駒場高校会
2. 生徒会へのお礼 松坂会館にて1時50分駒場生徒会へ
(20分)
3. 講演会 5月19日(土)1時半 駒場高校東校和室
講師 沢田久生氏(駒場)
4. 母校学園生活 9月21・22日(祝)松坂の母校(秋14)
コメディアン 矢吹幸彦氏(秋14)
イラストレーター 矢吹幸彦氏(秋15)
佐恵明出席
5. 松坂会館コンサート
12月14日(土) サントリー小ホール
長岡ヨシコ氏(駒場)
〜が〜で進んで歌へ、そして〜
〜に〜に飛ぶ日本の歌
第2部 愛を歌へ
6. コナロ 毎週第3火曜日(日・金、12月)
7. 松坂会館発行
平成8年9月(59号)及び平成9年3月(60号)

平成9年度事業計画

1. 駒場校学生会
5月17日(土) 午前11時 駒場駒場高校視聴教室
生徒会役員 20名
2. 駒場高等学校学生生徒会へ贈呈 20万円
5月17日(土) 午後1時30分より
駒場駒場高校視聴教室
西野 節子 氏 舞踊・演劇講師(第24期生)
長沼清光 氏 歌歌教室 島原流八郎(劇場8期)
歌舞伎研究家(駒場18期)
4. 母校学芸会報告
9月20日(土)・21日(日)
筑波及び他館所希望
5. 音楽会
11月20日(土)オハラシテニ・リサキタルル
歌会コンサート カラーの夕べ
宗本明子(駒場2期生)
6. コロナを語る 駒場駒場高校学芸会議案
毎年度 第三大目録(8・12月)を議決
前夜 前夜 小賀山氏
7. 松会会費報告
平成9年度 5月(61号)平成10年3月(62号)

百周年に向は

4年対して迎える母校創立百周年に對して會員の皆様から、一面に掲載しましたように、いろいろご提案をいただいております。都立の他校での創立百周年記念の実施状況を調べて見ました。明治21年創立の旧府立第一高等女校は創立百周年高齡では既に昭和6年に創立百周年事業・行事を済ませています。

窓会独自の事業・行事を考えております。會員の皆様からの各種ご提案も参考にさせていただきます。『百周年準備委員会』で計画案を取りまとめ、理事会・評議員会により、最終決定を策定することになります。百周年準備委員会では明年3月頃までに、計画案を取りまとめるべく作業中です。

百周年準備委員会のメンバーは

次の通りです。

記念誌は学校が発行し、同窓の先生が囑託として残り、編集は携わらなかった。同窓会としては、準備状況伺いました。先方の実施状況を伺いました。先方の聴取しました概要は次の通りです。

4 中島俊子（駒6）川井はるみ（駒9）石沢（一）（駒15）各常務理事、高橋陽子（理事、駒6）野野山（理事、西陽部長、駒6）三上眞喜子（駒10）平野孝子（駒30）各幹議員。

文部だより

催し500名が参集しました。

新校舎の完成が百年周年の重要な事だったので、①多目的ホールの諸施設②談話コーナーのテラブルと椅子を学校に寄贈したとのことでした。

資金については、特別を費として1口2万円の協力をいただき、7千万円の募金を得ることが出来たとのことです。

また、駒場の創立百周年記念事業や行事につきましても、学校側ともご相談しながら、学校側主権の事業や行事への協賛、また、同

群馬の地に支部が発足したもののが平成四年、支部でも長年住んで居りましたが、第一駒場の事を殆ど耳にしなかったが、いざいせんでしたので、会の発足は大変嬉しいことでした。現在三十二名ですが、年に一度定例会を八月下旬に、高崎駅南フットンホテル三階 銅鑼堂で開催しています。会員の中に九十歳を越えられた寺田甲子中(八十四)、斎藤辰展(八十八)も一昨年中には毎回ご出席なされ、貴重な体験、教訓をお話下され、その精神の若々しさと謙遜としたお姿に人生師として仰ぎ見

阿部純先生駒21のふだでは、群
 だま川名久子様駒21のふだでは、群
 響メンバーのご主人とフルトと
 ビアノのジョイントリササタルを
 なさつたり、第九児童合唱団を指
 導されご多忙です。その他会員
 の方々も、それぞれの持ち場そ
 の責任を果たされ、第三や
 駒場の教育の良き伝統をしらじみ
 感じよう。

もう一昨年になりますが、日本
 史の菱刈隆永先生が、果立崎高
 校に寄贈(先年の最初の赴任先を
 招き同窓会)に来られた時、先生を
 囲んで昼食会を開き、楽しい時間

お話がはびきたり、必ず第三
 当時の、或いは駒場の先生方の
 話になり、丁度叔が麻布の丘よ
 う半世紀と題した五十年誌を三
 冊持って行つて居ましたので、
 それをひらき、つかさざされた
 先生方のお写真に花が咲きまし
 た。これは41北が中心になり、学
 年誌として昔懐きの協力を得て出来
 上がったもので、昭和20年敗
 戦を前にして、三月の卒業もそこ
 そに激動の時代を卒業した様々な
 50年の人生が綴られて居ります。
 真摯な校風をいまだき、良
 妻賢母の道をずっと夢見た中

岡山

岡山松松会のお集まりで、平成
9年5月17日、岡山市表町の制菓
「司」で致しました。ご出席は8名
で、10名のメンバーが欠席しま
した。藤田美枝子様(駒15)は生
徒だった頃の宿題レポートを持参
された、赤ペンできょりと書か
れた感想を先生にご自身一覧になっ
て感無量であった事、一同が良き
師を得た日の感動の一瞬でもあり
ました。

(駒6 山岡良子)

一岡山一

札
幌

で、敗戦と共に女性の生き方も大きく変り、愛する男性の一人として愛されたいと望むようになった。共の年代に、岡山の先輩たちは澤山この理解を得た。又若い後援者から「今は、今の女性にとって当然だ」と思う生活の中に、如何に厳しい現実の歴史を経て、今日に至った流れも知っていた。若い頃懐かしく年月を共にしたところから生まれたこの五十年誌が、私共は勿論読者の事を知らない方々にも適切な感銘を与えて下さったことをここに報告申し上げます。

四二年ぶりという暑さが続いた北海道でございまして、八月に入りましてさすがに吹く風も涼し感じられるようになりました。札幌支店も最近のはなになりました。窓会を開いております。昨年は九月三日の山崎様、九名が集合しました。33中の山崎様、今田様、尾根井、駒12村、中村、今岡、加の駒3上十喜子様、新旧の学校時代のいつもの花に咲盛盛盛、いっもお服やに映えて、上げて下さる21中の伊藤様と調子う一人では御無理ということで欠席されましたが、未だに期講習紹介をされておましてデビニに紹介された程でございます。御出向の皆さまもそれぞれに陶芸、書道、絵画やお仕事にお忙しかつ過みの御様子で一年後の再会楽しみにしてお別れ致しました。北海道にお下りになられましたら是非師報下さいませ。

(42中) 町村寿美子

松桜会コンサート フルート音楽の魅力

宮本明恭
(駒74)

ピアノ●平尾はるな

1997年11月29日(土) 14時開演
東京オペラシティ・リサイタルホール
全席自由 ¥3000

■プログラム■
グリーンズ リーヴス
ソナタ ハ長調
ソナタ ニ長調
ソナタ ジョージ
ソナタ デー
ソナタ ナチネ



宮本明恭

1936年長野県須坂市出身。1955年、都立駒場高校芸術科を経て東京芸術大学に入学。在学中に日本音楽コンクール管弦部門第1位入賞。その後、チェコ政府給費留学生としてプラハ音楽院に学び、卒業後スイス・チューリッヒにて名門A.ジョネ教授のもとで研鑽を積む。帰国後65年にNHK交響楽団に入団、86年まで首席フルート奏者を務める。N響時代より独奏、室内楽の分野で活躍し、数々の名演を残している。68年J.S.バッハの「音楽のささげもの」を全曲録出し、本邦初演もした。現在、国立音楽大学及び大学院教授、山形大学講師を務めている。多数のCD、フルート名曲集、教本などの出版物がある。

平尾はるな

7歳より安川加寿子女子に師事。東京芸術大学附属音楽高等学校を経て同大学音楽科入学。1961年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院入学。64年プルミエ・プリを得て卒業。現在までに20数回以上のリサイタルを行う。75年東京三重奏団結成。77年昭和51年度文化庁芸術祭優秀賞。79年日本ブランチ協会設立。平尾貴男記念生涯教育センター主宰。

お申込み 月曜日午前10時～午後4時
TEL: FAX 03-3466-7579
主催: 財団法人 駒場松桜会

宮本明恭先生 「ちびちゃん」のこと

宮本明恭先生、通称「ちびちゃん」は、現在日本のフルート界を背負って立つ、まさに「ドン」で呼ばれています。なのに私達、都立駒場高校からの友人、又音楽仲間、は「ちびちゃん……」と呼んでしまっています。宮本さんとはかれこれ40年以上のお付き合い、そつ夫より長いお付き合いです。私も同じ音楽の世界にいますからラカ兄弟の様な気持でした。高校時代、受験前なのに放課後のんびり練習していたものです。お菓子上げようとして練習室に行くと、彼はいつも可愛いイラストの女の子と連弾していたのです。次の日は又違う女の子と……

名門出入の役者の後継者は心配ないが、脇役の役者が手薄になっていきます。伝統芸能としての歌舞伎の問題点です。西形さんは歌舞伎イヤホンガイの秋からの解説の仕事をして昭和五十一年の秋から続けておられます。歌舞伎イヤホンガイは朝日新聞と歌舞伎座との共同事業としてはじめての今回の歌舞伎に関する話や昨年の京表具師の表具入生(駒20)さんによる表具の話には多くの同窓生が関心を持ってくださいました。今後とも伝統文化分野で活躍の同窓生による講演会を企画出来ればと思います。人材情報をお目撃他薦をといませんので松桜会事務局迄までご連絡いただければ幸いです。

とうとう、ポケットの中のお菓子「甘納豆」はバスでした。純情で、頑固で、涙もろく、そんな小さな子で、みんなのアイドルで「ちびちゃん」になったのでした。高校、大学とそして現在私が読者が下がる事は、練習の鬼、研究の鬼、この間も毎日の厳しい練習で人差指と親指に出来た大きな豆グコを見せていたました。誰も胃潰瘍になっちゃってしまつてと言おうとクエストラを経て、ソリスト、そして教育の場に居られるちびちゃん。何よりも音楽が好きで、音楽を聞かせてくれる事でしょう。我ら駒場高校のちびちゃん、これから益々光り輝く音楽を沢山演奏して下さい。

(駒7 菅原早苗)

平成九年度総会開催

平成九年度の総会及び講演会は前号の会報でお知らせいたしました。去る五月十七日(土)、母校提督館で開かれました。講演会につきましては、別項記事をごらん下さい。

総会は午後一時過ぎより高橋陽子理事(駒7)の進行により開会されました。小杉明子理事長33中及び佐野校長先生の挨拶がありました。

次に、母校生徒会への助成金を吉田幸理事(37中)より岩崎教頭先生へ贈呈いたしました。中江千恵常務理事(駒4)が三面に掲載の平成八年度事業報告及び今年の事業計画の説明を行いました。

最後に新井英美(駒4)さんのリードで校歌を斉唱して閉会となりました。

小杉理事長挨拶要旨「この三月駒場高校を卒業した三百二十三名の新しい会員を迎え、駒場松桜会は第三、駒場を通して、住所の判明している同窓生会員は一万六千名にもなります。昭和二十六年母校創立五十周年の時には、記念事



右より校長、教頭、室長
うしろは歌舞伎の「絵看板」実物

定例講演会

歌舞伎の「駒場三人娘」



五月十七日(土)総会終了後、同じ会場の母校提督館教室で、今回は伝統芸能の一つである歌舞伎を支える仕事をなさっているお三方の同窓生による「歌舞伎あれこれ」題して、九十分の予定で歌舞伎が一層よく知る話を聴くことになりました。講演会終了後、母校会館で講演会を支えてのお茶とお菓子による懇親会をしました。

提督館教室に椅子を七十席追加して、会場を準備しましたが、一杯の参加者となり、また、三十分以上時間をオーバーした講演会でしたが、各講師の歌舞伎に携わったお仕事ぶりの一端をお伝えして、同窓のお三方のご活躍の様子をご紹介します。

司会の中江千恵常務理事(駒4)から次のように講師のお三方の紹介がありました。

「歌舞伎で芝居を観るといいます。まず、正面玄関に演目

を表現した「絵看板」が掛けてありますが、この絵を描いていられるのが鳥居清光(駒8)さん。劇場に入つて手にするプログラムに載っている筋書きは金森和子(駒18)さんが担当。さて、幕が開くイヤホンガイドを使用すると、その解説の声は西形節子(昭和十六年入学、三年時疎開で転校、第243回と同期)さんと言ふことになりました。

先輩格の西形さんが「本日の三人の話はレクチャーでなく、歌舞伎の世界の周辺で仕事をしてる三人が、それぞれの仕事を通してのあれこれを語つていただきます。私は狂言じつ的な劇を務めました。さて、口火を切りました。

「私共、三人がある仕事で話し合っていました。私は第三、私は駒場よとのことで、それ以来私共三人は「歌舞伎者の駒場三人娘」ということになっておりま

す。駒場三人娘はおおそそ年代差が十歳つ違ひます。また、舞台の入口に掛かっている絵看板の話は鳥居さんが始め

る。鳥居さんは東京芸大で日本美術を学び、まず、日生劇場で舞台美術を担当。昭和四十五年父鳥居派八代清忠氏の助手として修業を始め、昭和五十四年歌舞伎四月興業より、絵看板の製作を担当。昭和五十七年には鳥居派九代目鳥居清光」を襲名しました。歌舞伎座、国立劇場の舞台美術も付けて



左より西形さん、鳥居さん、金森さん

鳥居さんによると「絵看板とは劇場玄関前に狂言の内容を一つ一つの絵にまとめたものであつて、向かって右手に掲げてあるのが星の部、左手のは夜の部の狂言内容を描いたものです。絵看板は切符を買つて劇場に入らなくても、外から見ることが出来ますので、歌舞伎座の前を通られた時は是非ご覧下さい」。

「鳥居派は浮世世の一派であり江戸時代にはいろいろな流派がありました。現在は鳥居派のみが残っています。これは歌舞伎と関わってきたので、今日まで続いているのだと思います」とのことです。

「鳥居派の開祖鳥居清元は上方の女形の役者であり、絵筆も立つたので、芝居小屋から頼まれて絵をかいていた。時代は初代団十郎と同じ十七世紀後半です」。

「その後、大阪から江戸に下り、元禄三年(二六九〇)に市村座の絵看板を描いた。初代団十郎の荒事と私共の絵がマッチしてこのことに因ります。鳥居派の絵の特徴は「うたえん足(みずぎき)」と俗に言われたんです。荒事の見て切る力コブを強調して描いて、ところがひたした足」といわれ、昔は絵看板は高いところに掲げられたので、遠目でもわかるように



二重文(駒17) 二人展
鳥居清光(駒8)



10月17日(金) 26日
11時～19時
アートエビエール(浅草橋)
電話: 03-5621-0808

歌舞伎絵作家と文字デザイナーがつくりだす新しい世界。限りない発想は版画の概念を越えた楽しさがいっぱい。



「卒業生」周年記念
第三高女33回合同クラス会
平成九年四月四日、明治記念館
レストラン「羽衣」の秋、桜の間
で、東京府立第二高女33回合同ク
ラス会を開きました。卒業して六
十周年の記念でもあり、全員が喜
寿を迎えました。
司会を西級の井上岡田よし子
様、開会の言葉を南級的小林玉
河和子様、すでに亡くなられた

同期会だより



方を愚んで黙秘してから、乾杯
の音頭を東級の嶋田(名義・美津子
様)がとられ、果実酒で乾杯しま
した。

この日だけ雨が降らず、名古屋
からの英語の藤井・高桑・喜代先生
は同級生と間違えられる程お若
く、また音楽の吉田操先生も第三
の先輩らしい優雅なお姿を見せて
下さいました。
食事のあと五十四名の出席者
が級ごとに幹事から紹介されま
した。

藤井先生のお話、ドイツのヘル
マン・ホイヴェハースの友人作の
「最上のわざ」という詩の訳をお読
みになり、またその心境にはいた
らないがとおしゃりつつも、人
生の鎖を少しずつはすしてゆくこ
と、人の親切(介抱など)を受ける
こと、自分の十字架を背負うこと
(キリスト教の教え)をきかせて下
さり、感謝深かった。

吉田先生は大病をされたがそれ
をのり越えられたこと、第三で音
楽を教えた頃、身ごもっていたこ
ろ、後任を探すのも大変だったこ
との様子、第三の24回生で八十六
才とは思えない程お若い。藤井先
生はそれより一歳上でいらっしゃる
筈だが、背筋はピンと伸び、笑
顔も美しく、お二人とも今もって
私共の先生、お手本を見せて下

新聞博物館の夢を現させた 男のロマンを考える

「学園祭への参加テーマ」

今年の学園祭への参加は、日本

新聞界の貴重な史料「羽島コレ
クション」をテーマとすることに決
定いたしました。新聞資料のコレ
クターとして知られる羽島知之氏
は、駒六の卒業生。

来たる平成十二年に横浜市に
オープンする日本新聞博物館に
羽島氏が、四十七年間手塚にかけ
て収集された資料の一切が、引き
継がれます。日本にも公的な新聞
資料館の建設を！と長年提唱しつ
づけてきた夢が、やっと実現。文
化的なナマ資料「新聞」を保存し、
後世に伝えようとの半世紀に渡る
結果から「継続することの意義・大
切さ」を、若い人たちに伝える目
的で、今回の学園祭の展示は構成
されています。

「羽島コレクション」は、古書市
や、古本屋から買い集めたものか
ら、旧家の土蔵や納屋、はては古
いふすまの下張りから出てきた明
治初年の新聞まで、手を尽くして
探し出したものばかり。
資料の一部「号外」の見出しか
ら、いくつか紹介いたします。
●(号外戦後史一九四五)一九九
五「羽島知之」(修訂版大空社刊より)

「けふ正午に重大放送 国民必ず
厳粛に聴出せよ」
'45年8月15日朝日」

「金閣寺今晚全焼」

'50年7月2日「毎日」

「青田連絡船船丸遭難 乗客三
千余名絶望か逃げる暇なし」

'54年9月27日「毎日」

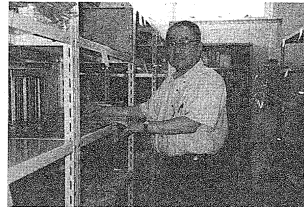
「皇太子妃に正田美智子さん初め
ての民間出身才色備えた近代女性

「首都に著新書」美濃部氏、松下
氏に13万票差
'67年4月16日「読売」

「けさ東大へ機動隊 安田講堂など
を包囲無為無策から重大事態

「天皇陛下崩御 昭和終わる」
'89年1月7日「毎日」

大事件や、トップニュースを伝
える新聞の号外は、歴史の「ペー
」



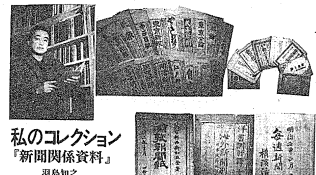
資料棚前で整理中の羽島氏

じとなつてしまった時代を、鮮や
かに、今よみがえらせる貴重な
資料といえます。

羽島氏が、新聞に興味を持ち、
収集を始めたのは中学の時。
国語教育で有名な大村はま先生の
指導を受けたのが、きっかけで
した。駒場時代には、自ら「東
洋文化新聞研究会」を結成。大学
では、新聞歴史研究の最権威、
小野秀雄先生に教示を受け、学生
コレクターとして既に、著名な存
在になられていました。就職後、
コレクター同士として知り合った
西垣武一氏(収集品は、「早稲田大
学西垣文庫」)が、社長を務める会
社へ。この時、しまった。古書
展で、西垣氏と渡り会えなくなっ
てしまった。社長が古書展に出か
けていくのを指さすくわえて見送ら
ねばならいなんて、この境遇に
落ち入られたそうですが、かえっ
て通信販売により全国各地の古本
屋さんとの付き合いが盛ん。正
に「継続は力なり」を実践された結
果が、この膨大な新聞資料といえ
ます。

現存する最古のから版といわ
れる慶長二〇年(六一五)の、大
坂阿部之合戦の図をはじめ、日
本に最初に現れた文久二年(一
八六二)の「官板バタビヤ新聞」
と草創期の新聞から現在に至る新
聞のオリジナル、先に紹介した号
外、昭和二十年代の世相と社会を
反映するカストリ新聞、新聞人に
関する書翰・色紙、ジャーナリス
ムに関する書籍、さらに号外売の
鈴や、大本営のマル秘の通達文ま
で多岐に亘る資料は、十萬点を超

す充実度。駒場の学園祭にふさわ
しいテーマで、どの様な展示にな



私のコレクション
「新聞関係資料」
羽島知之

「合唱曲集を歌う会」 お知らせ

六月二十八日の第一回は台風8
号の襲来にも関わらず、約八十名
がご参加下さり、「一緒に思い出
深い歌の数々を懐かしむことがで
きました。次回には左記の通り決ま
りましたので、又同窓生の方など
でもご参加ください。

佐々木幸徳著「合唱曲集」(有名
曲を含む女声三部小曲集よりの
楽譜をこちらで用意いたします。
●日時 平成十年(月)二四日(土)
午後一時~四時
●場所 駒場幼稚園(駒場高校隣
スリッパ等上履をこ持参下さ
い。

新井名和田・駒4
03-5701-0159
鈴木(小佐・駒4)
03-3414-9723

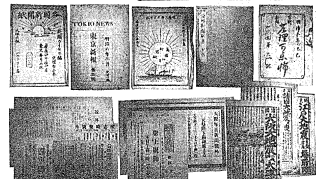
さて、
松桜会の理事長を引受けられた
小杉(梅谷)明子様から同窓会の現
況についての報告があったから開
会した。三女の焼印のある和泉家
の紅白饅頭が引出物となった。
このあと芝生に出て校舎の花
を背景に写真撮影で散会した。
あの戦争があったにも拘らず、
これだけの人数が健在で、十代を
かえりみるこが出来たのは幸せ
だと思ふ。
尚、今回の合同クラス会につい
て、長らく駒場学園高校の校長を
つとめられ南級的小林(玉河)和
子様のご尽力に負うところが大き
かった、感謝いたします。
(33東 新藤千恵)

【駒七選暦記念同期会開催】

今年には駒七期生の卒業後四十二
年、全員が選暦を迎えたこともあ
り、去る四月二十日(日曜日)同期
会を開催致しました。
場所の選定も、街が全く新しく
生れ変わった恵比寿のウエスティン
ホテルのボウルルームを借りきり
大変な豪華でした。参加人数は
百二十人を越えるまでの盛況で、
海外の方まで、お元気で活
躍中の方々がご参加もあり、予想
通りの盛況でした。

六十才を迎えて定年退職となり
新たな人生に入りました。とか、
子供達とおそろい親戚でした。時
には孫達と過す時間もあります
基本的には、静かな夫婦だけの生
活になりました。などの話題もあ
る中で、四十二年ぶりに再会した

るか、非常に楽しみです。



☆準備の都合上できたらご参加の 旨、係又は左記の方にお知らせ ください。

(阿川君子(駒2)
03-3583-3630
石川(和田・駒3)
03-3466-9658)



参加ご希望の方は高橋陽彦
電話 03-3541-2070(会社)
045-712-8088(住宅)

同期会 開催のお知らせ

○駒5 卒業45周年同期会
平成10年6月6日(土)
17時~
銀座ファゼンダ
○駒8 選暦同期会
平成9年9月27日(土)
17時~20時
銀座ライオン7丁目店

○駒9 卒業40周年同期会
平成9年10月4日(土)
17時~20時
東京第一ホテル
日本橋店

平成9年度教職員異動

退職 国語 清原美雄先生

数学 土田敏裕先生

物理 横田憲治先生

司書 野間康子先生

小山台高専

重政文三郎教頭

八王子北高校校長

国語 山本恭子先生

千歳高校

世界史長谷川賢先生

数学 萩原久子先生

千歳高校

保体 佐々木孝志先生

家庭 望月昌代先生

指導主事 研修

英語 佐藤信夫先生

小川高校

英語 宮田智子先生

大崎高校

英語 加藤文雄先生

飛鳥高校

保体 鯨岡広隆先生

渋谷区教委指導主事

庶務係長鈴木代子様

南高校庶務係長

岩脇国夫教頭

墨田高校教頭(定より)

国語 栗屋不二子先生

豊島高校

国語 中村志江先生

桜水商業高校より

数学 鈴木弘久先生

調布北高校より

数学 沢田和巳先生

小平南高校より

物理 天良和男先生

広尾高校より

保体 坂口裕幸先生

北園高校より

家庭 中里洋子先生

砂川高校より

英語 井上義博先生

赤坂丘高校より

英語 牧益子先生

武蔵丘高校より

英語 藤武秀和先生

羽田高校より

(財)駒場松桜会役員の交替

新理事

岩脇国夫教頭

山下敦子(駒15)先生

井上正事務室長

新監事

小野啓一先生

重政先生、山本先生、土田先生

植嶋事務室長には長い間ご協力

頂き有難うございました。

食卓開設にスリッパ贈呈

定時制の生徒のための給食設備

として使用されてきた生徒ホール

は、定時制廃止に伴い、生徒用の

食堂として利用されることになり

ました。教職員、PTAが中心に

なつて食堂開設を目指してこれら

しました。

9月2日にオープンです。お祝

いとして、松桜会がスリッパ二

百足を贈呈致しました。

卒業生の皆様も是非利用してい

ただきたいとのことです。

学校法人駒場幼稚園からの
お知らせ

●公開行事

10月4日(土)運動会

11月22日(土)まばらザ

12月20日(土)駒場クラブ

「縄文人のくらしを体験しよう」

*幼稚園にお問い合わせの上お

でかけください。お待ちしております。

電話 03-3466-2959

●平成10年度園児募集

保育見学会

9月26日(金)10時

10月17日(金)10時

10月31日(金)10時

説明会

10月15日(水)2時

10月29日(水)2時

入園願書・募集要項配布

10月15日(水)

入園願書受付

11月1日(土)9時~11時



会 員 通 信

第三の卒業生はだんだんと数が
少なくなったと思いますが、第三
の時代の記事がのると懐かしいの
です。(37南)

母校のご発展と卒業生の方々の
社会でのご活躍に嬉しく存しま
すが、母校の精神をいつたものを
折々に感じ後押しをしていただい
ております。(40東)

井の頭線の電車の窓から、駒場
東大前の渋谷よりのホームのはず
れから、細い小路が見え、探して
いたものが見つかったような気が
しました。(駒10-4)

恩師の消息、感慨深く読ませて
頂きました。石丸、矢吹氏の在校
生へのメッセージも共感を持てま
した。(駒30-8)

60号の会報は石丸洋一氏の文章
がとておもしろかったです。い
つもカタイ文章、報告が多いので
異彩を放っておりましたが、たま
にはこういうものもよいとおも
います。(駒34-5)

恩師の消息の欄懐かしく拝見
いたしました。年賀状のやり取りを
している先生も数名のつてました
が、それ以外の先生方のお名前が
当時を思い起こすに十分なもので
した。(駒37-5)

《振替用紙から》

計 報
円城達二先生 平成9年8月11日
謹んでご冥福をお祈り申し上げ
ます

三宅康文(駒8-7)

荒川百景字遊宇彩展

9月23日(祝)28日(日)

11時~19時(最終日17時)

有楽橋画廊(03-3466-2959)

秋交湖から東京湾まで170km

を歩いて描いたスケッチと風、

響、遊、などの心象文字を融

合させた新しい風景版画を100

点展開します。

張さつき(駒11-3)著

母の贈りもの 未来社

ひとり暮らしの上手な93才

の母を思い、神戸に暮らす

日々を紡ぎ出す心あたたまる

エッセイ集。

コナロを語る会

毎月第3火曜日 14時

第2アリーナ2F 16時

体育講義室

事務局より

☆平成10年2月より駒場松桜会の郵便
番号は153-0044となります。

☆同期会・クラス会開催のご案内を会報
に載せたい方は春の号の場合は1月中
旬まで、秋の号は7月中旬までにご連
絡下さい。